

台風9号に係る西湘バイパスの被災と無料措置の効果について

西湘バイパスでは、2007年9月6日から7日にかけての台風9号の影響によって大きな被害が発生し、一部区間で通行止めとなっていました。応急復旧を実施し9月27日11時に対面2車線で暫定開通しました。現在、「西湘バイパス構造物崩落に関する調査検討委員会」において、被災の原因の調査、将来にわたる安全性を確保した構造、施工方法等の検討を行い、早期の本格復旧を目指しています。

また、西湘バイパスの通行止めに伴い、小田原厚木道路の通行料金の無料措置を行いましたので、その効果についてお知らせします。

(1) 被災および復旧状況

- 1) 区 間 西湘二宮IC～橘IC KP0.0～KP0.9
- 2) 被災内容 下り線側擁壁の崩落、本線橋(金波橋)橋脚洗掘など
- 3) 応急復旧 路面陥没箇所鋼矢板を打設するなど道路構造の安全性を確保
上り線を用いた暫定2車線対面通行にて開通(9月27日11時)
- 4) 本格復旧 委員会において、構造、施工方法等の検討を行い、早期本格復旧を目指します。



西湘バイパス、小田原厚木道路 位置図



(2) 小田原厚木道路無料措置に至る経緯及び効果

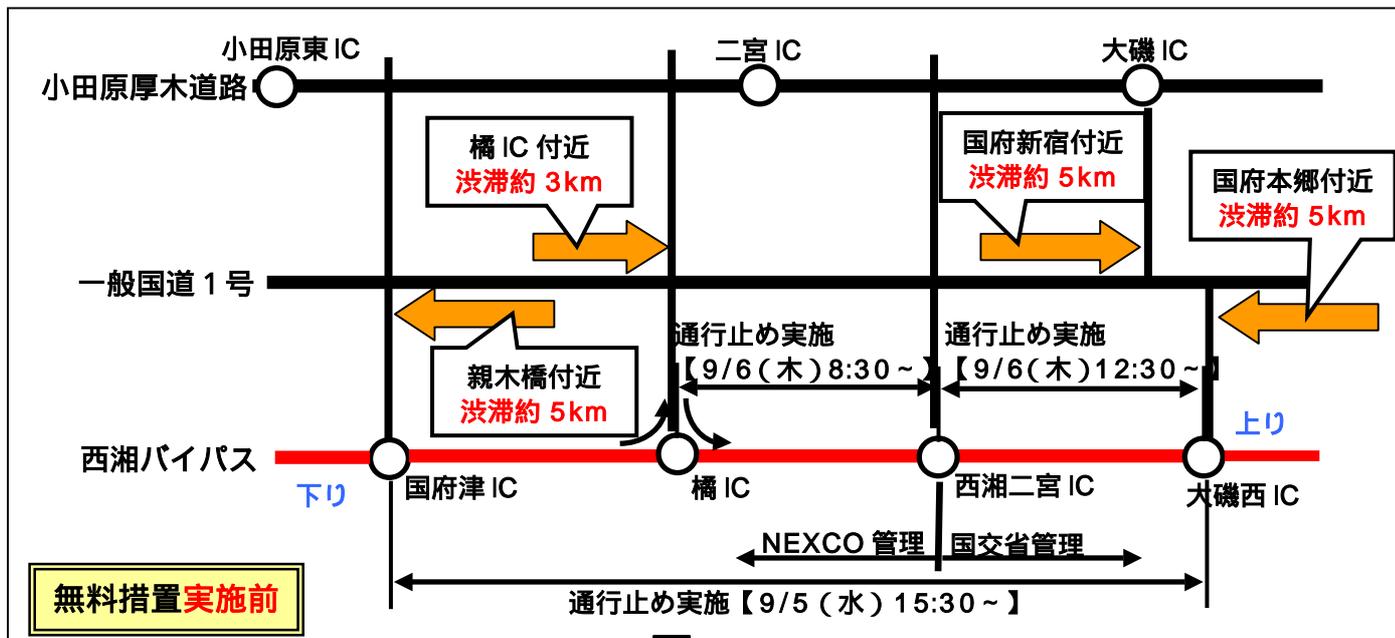
1) 経緯

西湘バイパスの通行止め実施に伴い、並行する一般国道1号において、午前・午後の通勤時間帯を中心に各所で渋滞が発生し、その機能が著しく低下したことから、社会的影響や国からの要請を考慮し、会社として近傍で並行する小田原厚木道路について平成19年9月10日14時から無料措置を行いました。(9月27日24:00無料措置解除)

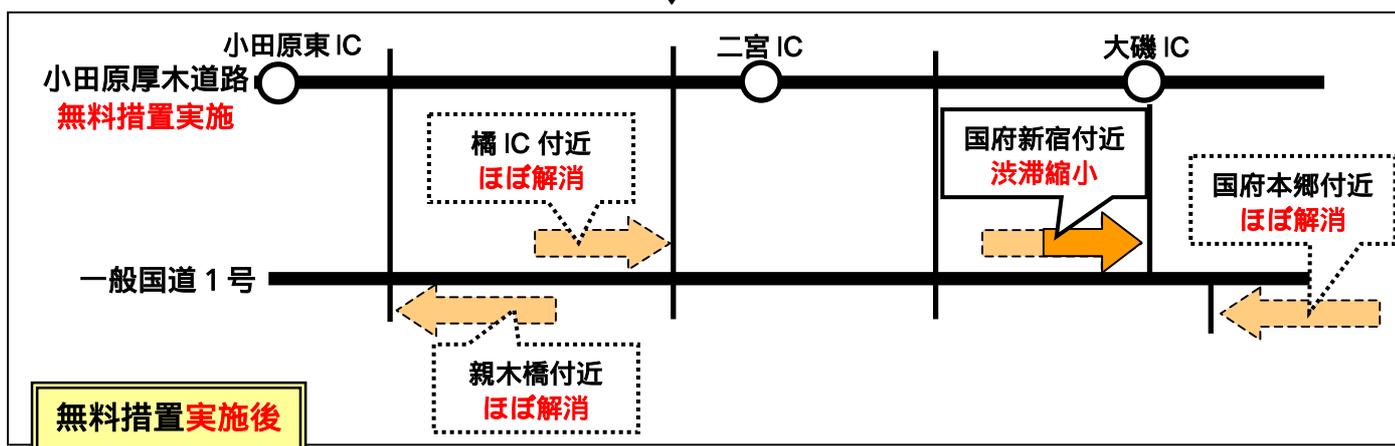
< 通行止め実施前においては、当該区間において大きな渋滞は観測されていません。 >

2) 効果

無料措置の実施により、国道1号の渋滞はほぼ解消されました。



国道1号の渋滞は時速10km以下の車列の延長



3) 小田原厚木道路無料措置解除に伴う一般国道1号の状況

無料措置解除後、一般国道1号の当該区間における目立った渋滞は観測されていません。

以上